

# 第9回 Web グランプリ

## アクセシビリティ賞、審査委員特別貢献賞を発表！

342社が加盟（2021年10月末現在）する公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：中村 俊之）は、第9回 Web グランプリ（<https://award.dmi.jaa.or.jp/>）の企業グランプリ部門「アクセシビリティ賞」受賞6サイト、「審査委員特別貢献賞」受賞者6名を決定いたしました。（「審査委員特別貢献賞」は50音順 敬称略）

### アクセシビリティ賞 受賞サイト

賞名	サイト名	企業名
グランプリ	明治ホームページ	株式会社 明治
準グランプリ	がいの歴史	日本ガイシ株式会社
優秀賞	キリンホールディングス株式会社 商品・サービス情報 Web サイト	キリンホールディングス株式会社 制作パートナー：株式会社ミツエーリンクス
優秀賞	ダース発見力向上サイト	森永製菓株式会社 制作パートナー：株式会社専報堂、株式会社イメージサイエンス
優秀賞	日本ガイシコーポレートサイト	日本ガイシ株式会社
優秀賞	住友金属鉱山コーポレートサイト	住友金属鉱山株式会社

### 審査委員特別貢献賞

氏名	企業名
木村 ゆうき 氏	株式会社KDO（参加企業：岩崎電気株式会社）
関 悠嗣 氏	株式会社コンセント（参加企業：花王株式会社）
竹岡 健太郎 氏	株式会社日本デキシー
古市 将揮 氏	株式会社アトリー（参加企業：エスビー食品株式会社）
堀川 知恵 氏	大日本印刷株式会社
迎 俊博 氏	株式会社ミツエーリンクス（参加企業：キリンホールディングス株式会社）

#### 【お問合せ先】

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構 Web グランプリ事務局

受付時間：10：00～17：00＜平日のみ＞ TEL：03-3543-5855

e-mail：[award-info@dmi.jaa.or.jp](mailto:award-info@dmi.jaa.or.jp)

お問合せフォーム：<https://award.dmi.jaa.or.jp/inquiries>

# 企業グランプリ部門「アクセシビリティ賞」受賞サイト

## 企業グランプリ部門 アクセシビリティ賞

<p>グランプリ</p>	<p>明治ホームページ 株式会社 明治 <a href="https://www.meiji.co.jp/">https://www.meiji.co.jp/</a></p>	
<p>準グランプリ</p>	<p>がいのし歴史 日本ガイシ株式会社 <a href="https://www.ngk.co.jp/gaishi-h/">https://www.ngk.co.jp/gaishi-h/</a></p>	
<p>優秀賞</p>	<p>キリンホールディングス株式会社 商品・サービス情報 Web サイト キリンホールディングス株式会社 制作パートナー：株式会社ミツエーリンクス <a href="https://www.kirin.co.jp/">https://www.kirin.co.jp/</a></p>	
<p>優秀賞</p>	<p>ダース発見力向上サイト 森永製菓株式会社 制作パートナー：株式会社博報堂、株式会社イメージサイエンス <a href="https://www.morinaga.co.jp/dars/hakken/">https://www.morinaga.co.jp/dars/hakken/</a></p>	
<p>優秀賞</p>	<p>日本ガイシコーポレートサイト 日本ガイシ株式会社 <a href="https://www.ngk.co.jp/">https://www.ngk.co.jp/</a></p>	
<p>優秀賞</p>	<p>住友金属鉱山コーポレートサイト 住友金属鉱山株式会社 <a href="https://www.smm.co.jp/">https://www.smm.co.jp/</a></p>	

## 【企業グランプリ部門】 アクセシビリティ賞 の審査について

アクセシビリティ賞は、2019年までは浅川賞として視覚障害の方にとって使いやすいウェブサイトを表彰していました。しかしより多様なウェブアクセシビリティを実現している企業サイトを表彰すべく、昨年より審査方法を改定し、本年は下記の通り審査を行いました。

- ・参加全 74 サイトを対象に、Web アクセシビリティチェックツール 2 種を用い、スコア上位 20 サイトを選出。
- ・二次審査にて Web アクセシビリティ専門家 5 名が 8 サイトずつ（1 サイトにつき 2 人の専門家）の審査を行い、順位スコアから上位 6 サイトを選出。
- ・最終審査にて、実際にさまざまな障害を持つ有識者 7 名が 6 サイトをストレスなく情報を取得できるかを基準に審査を行い、順位スコアからグランプリを決定いたしました。

### ◇専門家審査委員（50音順）

- 植木 真 氏** （株式会社インフォアジア代表取締役）  
**太田 良典 氏** （弁護士ドットコム株式会社 エキスパートエンジニア）  
**柴田 宣史 氏** （有限会社時代工房 代表取締役）  
**関根 千佳 氏** （株式会社ユーディット会長兼シニアフェロー）  
**中村 精親 氏** （株式会社ミツエーリンクス アクセシビリティ部 マネージャー）

### ◇有識者審査委員（50音順）

- 板垣 宏明 氏** （NPO 法人アイ・コラボレーション神戸 理事長）  
・先天性多関節拘縮症のため全身の関節を動かすことが困難ですが、通常のマウス・キーボードで審査を行っています。
- 大河内 直之 氏** （東京大学 先端科学技術研究センター バリアフリー分野 特任研究員）  
・全盲のため、スクリーンリーダを使用し、審査を行っています。
- 九重 洋介 氏** （NPO 法人アイ・コラボレーション）  
・両上下肢機能全廃のため、すべて音声（windows 音声認識）で審査を行っています。
- 嶋本 恭規 氏** （公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会）  
・ろう&感音性難聴（100 デシベル以上）。通常のマウス・キーボードで審査を行っています。
- Ten 氏** （合同会社 Ledesone）  
・LD（学習障害）と ADHD。通常のマウス・キーボードで審査を行っています。
- 南谷 和範 氏** （大学入試センター 特任准教授）  
・全盲のため、スクリーンリーダを使用し、審査を行っています。
- 三保 浩一郎 氏** （広島市歯科医師会広報部副委員長、日本 ALS 協会広島県支部支部長）  
・人工呼吸器を装着した ALS 患者のため、視線入力により審査を行っています。

## 企業グランプリ部門 審査委員特別貢献賞について

Web グランプリは、各参加企業同士がお互いに審査を行うことによって受賞企業が決定する、相互審査方式を取り入れています。各参加企業が登録した審査委員がそれぞれのサイトについて良かった点と悪かった点を記入し、参加企業にフィードバックを行っています。この審査コメントこそが、今後の企業の Web サイトの向上にもつながる非常に重要なプロの声であると同時に、Web グランプリの大きな特徴の 1 つとなっています。「審査委員特別貢献賞」は、コメントを受け取った各企業からの投票による推薦で選定し、本年は得票数上位 6 名に贈賞いたします。

## Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

過去 11 回開催し、これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web クリエーション・アワード（Web 広告研究会主催）と、過去 6 回開催し日本の企業ウェブサイトの発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013 年を第 1 回として開催いたしました。今年が第 9 回となります。



インターネットがすみずみまで行き渡った現在、Web サイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざまな情報のソースとしても Web サイトの重要性がいつそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、【Web 関係者の、Web 関係者による、Web 関係者のための賞】として優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく 2 つ「Web 人部門」と「企業グランプリ部門」に分かれています。「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、Web 社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

【Web グランプリプロジェクト 運営メンバー】

### ◇Web グランプリプロジェクトリーダー

新井 隆之（岩崎電気株式会社、デジタルマーケティング研究機構 幹事）

### ◇Web グランプリプロジェクト プロジェクトメンバー

西田 健（キャノンマーケティングジャパン株式会社、デジタルマーケティング研究機構 副代表幹事）

# デジタルマーケティング研究機構について

日本アドバタイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構（Digital Marketing Institute）は、1999年4月1日、社団法人日本広告主協会(現:日本アドバタイザーズ協会) デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました(発足時名称:Web 広告研究会)。業界の枠を超えて Web 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開におけるさまざまな課題について、広告主と関連企業・団体（広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など）が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を10の委員会と4つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

## <委員会>

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ・コーポレートブランド委員会  | ・サイトマネジメント委員会        |
| ・ソーシャルメディア委員会   | ・コミュニケーションプランニング委員会  |
| ・データ活用委員会       | ・カスタマーエクスペリエンス委員会    |
| ・イノベーション委員会     | ・モバイル委員会             |
| ・B2B マーケティング委員会 | ・West デジタルマーケティング委員会 |

## <プロジェクト>

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| ・人材育成プロジェクト       | ・Web グランプリプロジェクト |
| ・ネット広告健全化推進プロジェクト | ・U35 プロジェクト      |

- 会員社 342 社（2021 年 10 月 31 日現在）
- 代表幹事 中村 俊之（株式会社ポーラ）
- 所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 ヒューリック銀座 3 丁目ビル 8 階
- Web <https://dmi.jaa.or.jp/>